

情報教育部

部長 北村正彦

- 1 研修主題 「情報社会に主体的に対応できる力を育てる情報教育のあり方」
- 2 研究方針と研究方法
 - (1) 方針
 - ICT (情報通信技術) を活用した授業づくり
 - 情報教育におけるマナー・モラルの育成
 - (2) 方法
 - 授業研究会の実施
 - 一斉研修 (年2回)
 - 3 事業内容
 - (1) 部会総会
事業・決算報告、事業・予算協議等
 - (2) 第1回研修会
○内容 「小学校における情報モラルについて」
鳥取県教育センター 指導主事 中林 正樹 先生
 - (3) 夏季一斉研修会 (第2回研修会)
○内容 研修1 「スカイメモの操作法とコンピュータの活用について」
講師 SKY株式会社 高垣 圭 さん 他4名
研修2 「e-教材作成ツール「dbook」による教材作成と活用について」
講師 鳥取市立美保南小学校 長江 昭彦 先生
 - (4) 授業研究会事前打合せ (6名参加)
9月27日 (金) <世紀小>
 - (5) 授業研究会 (15名参加)
11月11日 (月) <附属小>
 - 授業者 鳥取大学附属小学校 3学年 担任 谷田 健司 教諭
 - 教科 社会科 「スーパーマーケットの仕事」
 - 指導助言者 鳥取県教育センター 指導主事 中林 正樹 先生
 - (6) 理事会 (2回開催)
 - 第1回 5月15日 (水) <鳥取市教育センター> ○第2回 6月6日 (木) <河原第一小>
 - ※これ以外に、部長・副部长・理事等で互いにメール連絡を行った。
- 4 研究実践
 - (1) 第1回研修会
小学校における情報モラル教育について、研修を行った。
 - (2) 第2回研修会 (夏季一斉研修会)
スカイメモの効果的な操作法と dbook による教材作成について、研修を行った。
 - (3) 授業研究会
社会科の授業における、ipad と電子黒板の効果的な活用の仕方について、研修を深めた。
- 5 今後の課題
本年度は、スカイメモの操作法、e-教材作成ツールの使用方法を確認した。研修後各校でどのように活用されているか、情報交換が必要である。研究授業会の参加者は例年より多かったが、学校行事等で参加できない部員も数多くいたので、時期的なものも考えたい。